

第 38 期

計 算 書 類

(会社法第435条第2項に基づく書類)

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月31日

安田ロジファーマ株式会社

[重要な会計方針]

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・・・・・・・・個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物・・・・・・・・・・12年～31年

機械及び装置・・・6年～12年

無形固定資産（リース資産を除く）・・・自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法を採用しております。

リース資産・・・・・・・・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・・・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金・・・・・・・・・・従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

退職給付引当金・・・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、退職給付債務は期末要支給額に基づき計算しています。

4. 収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 30 号 2021 年 3 月 26 日)を適用し、以下の 5 ステップアプローチに基づき、顧客との契約から生じる収益を認識しています。

ステップ 1: 顧客との契約を識別する。

ステップ 2: 契約における履行義務を識別する。

ステップ 3: 取引価格を算定する。

ステップ 4: 取引価格を契約における履行義務に配分する。

ステップ 5: 履行義務を充足した時にまたは充足するにつれて収益を認識する。

医薬品等の物流サービス、製造サービス及び倉庫サービスによる収益

当社は、医薬品等の物流サービス、製造サービス及び倉庫サービスについて、通常、約束したサービスの役務提供時点において顧客が当該サービスに対する支配を獲得し、当社の履行義務が充足されると判断していることから、当該サービスの役務提供時点で収益を認識しております。

[重要な会計上の見積りに関する注記]

当計算書類の作成にあたり、当社が行った重要な会計上の見積り及び使用した仮定は次のとおりです。見積りの基礎となる仮定は継続的に見直しています。見積りの変更による影響は、見積りを変更した期間及び将来の期間において認識していません。なお、これらの見積り及び仮定に関する不確実性により、将来の期間において資産または負債の帳簿価額に対して重要な修正が求められる結果となる可能性があります。

1. 有形固定資産の減損

当事業年度の計算書類に計上した有形固定資産の金額は 2,779,338 千円です。

当社は、資産または資産グループに減損の兆候がある場合には、当該資産または資産グループについて、減損損失を認識するかどうかの判定を行い、減損の兆候がある場合に割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回る場合には減損損失を認識します。回収可能価額を見積り、帳簿価額が回収可能額を上回っている場合は帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として当期の損失とします。

[収益認識に関する注記]

(1) 収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

[貸借対照表の注記]

1. 有形固定資産の減価償却累計額は 4,097,531 千円であります。

2. 関係会社に対する金銭債権及び債務

買掛金	39,304 千円
未払金	3,349 千円
流動長期借入金	100,000 千円
長期借入金	1,200,000 千円

[損益計算書の注記]

1. 関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上原価	305,917 千円
販売費及び一般管理費	5,728 千円

営業取引以外の取引による取引高

営業外費用	17,030 千円
-------	-----------

[株主資本等変動計算書の注記]

1. 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

普通株式	1,200 株
------	---------

[税効果会計に関する注記]

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

賞与引当金	19,101 千円
退職給付引当金（翌期退職予定）	9,357 千円
税率変更後の繰延税金資産	13,321 千円
その他	7,182 千円

繰延税金資産 合計	<u>48,962 千円</u>
-----------	------------------

[金融商品に関する注記]

1. 金融商品の時価等に関する事項

2026年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額 (※)	時価 (※)	差額
(1) 売掛金	488,508	488,508	-
(2) 未収入金	837	837	-
(3) 関係会社短期貸付金	-	-	-
(4) 差入保証金	64,563	59,707	△4,856
(5) 買掛金	(320,695)	(320,695)	-
(6) 未払金	(60,342)	(60,342)	-
(7) リース債務	-	-	-

(※) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

- (1) 売掛金、(2) 未収入金、(3) 関係会社短期貸付金、(5) 買掛金、
(6) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

- (4) 差入保証金

将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な利率で割り引いた現在価値により算定しております。

- (7) リース債務

元利金の合計額を同様の新規調達を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

なお、リース債務には1年内返済予定のリース債務を含めて表示していません。

(注2) リース債務の決算日後の返済予定額

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース債務	-	-	-	-	-	-

[関連当事者との取引に関する注記]

1. 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	安田倉庫(株)	被所有直接 100.0	当社が製品保管を受託	製品の運送手配・保管(※1)	6,194	売掛金	692
			当社が製品保管、荷役諸作業、輸入通関を委託	製品の保管・荷役・通関・運送手配(※1)	296,718	買掛金	39,304
			資金の借入	資金の借入	—	関係会社貸付金	1,300,000
				利息の支払	17,030	未払費用	—

- (注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高(関係会社短期貸付金は除く)には消費税等が含まれておりません。
2. 取引条件及びその決定方針等
 ※1 独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っております。

[1株当たり情報に関する注記]

1株当たり純資産額	1,457,663円19銭
1株当たり当期純利益	166,150円99銭

[重要な後発事象に関する注記]

該当事項はありません。

貸借対照表
〔2026年3月31日現在〕

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(流動資産)	1,005,999	(流動負債)	669,488
現金及び預金	414,864	買掛金	320,695
売掛金	488,508	関係会社流動長期借入金	100,000
商品	48,250	未払金	60,342
前払費用	53,539	未払法人税等	71,684
未収入金	837	未払消費税等	41,171
		リース債務	0
		賞与引当金	57,307
		その他	18,287
(固定資産)	2,972,864	(固定負債)	1,560,180
(有形固定資産)	2,779,338	関係会社長期借入金	1,200,000
建物	790,612	退職給付引当金	131,604
構築物	28,774	資産除去債務	228,576
機械及び装置	262,110		
車両及び運搬具	209		
工具器具備品	62,337		
土地	1,583,694		
リース資産	0		
建設仮勘定	51,601		
(無形固定資産)	76,776	負債合計	2,229,668
ソフトウェア	75,942	純資産の部	
その他	834	(株主資本)	(1,749,195)
(投資その他の資産)	116,748	(資本金)	(60,000)
繰延税金資産	48,962	(利益剰余金)	(1,689,195)
差入保証金	64,563	利益準備金	15,000
長期前払費用	3,222	その他利益剰余金	1,674,195
		別途積立金	1,845,000
		繰越利益剰余金	(170,804)
		純資産合計	1,749,195
資産合計	3,978,864	負債及び純資産合計	3,978,864

株主資本等変動計算書

(自 2025年 4月 1日
至 2026年 3月 31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	60,000	8,434	1,845,000	△274,683	1,578,751	1,638,751	1,638,751
当期変動額				0			
剰余金の配当				△88,936	△88,936	△88,936	△88,936
剰余金の配当に伴う利益準備金の積み立て		6,565		△6,565	—		
当期純利益				199,381	199,381	199,381	199,381
当期変動額合計		6,565		103,879	110,444	110,444	110,444
当期末残高	60,000	15,000	1,845,000	△170,804	1,689,195	1,749,195	1,749,195